

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	地域医療確保事業				事務事業コード	03801	
部 名	健康づくり部	課 名	健康づくり課	係 名	予防係	部課コード	040400

1. 事業概要

総合計画コード	2532	2531	2533		
事業年度	年度 ~ H 年度		事業類型	◎ソフト事業	○ハード事業
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 朝霞地区病院群輪番制病院運営費補助金交付要綱 朝霞地区医師会補助金交付要綱 朝霞地区歯科医師会補助金交付要綱 朝霞地区看護専門学校運営費補助金交付要綱 朝霞地区第二次救急医療圏における寄附講座運営支援事業補助金交付要綱 埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、朝霞市骨髄移植ドナー助成費交付要綱	
めざす目的成果	医療機関が休診となる休日夜間においても、市民が医療機関で受診することができるよう医療体制が整備されている。また、地域医療体制の確立と保健衛生事業の推進に寄与することにより、市民の健康増進の拡充が図られている。				
事業内容	朝霞市民の健康を守る地域医療体制の確立と、朝霞地区看護専門学校(朝霞地区医師会)の安定した運営に資するため、朝霞地区医師会等に補助金を交付する。朝霞地区4市が朝霞地区医師会と委託契約を締結し、日曜及び休日の昼間の初期救急医療、救急病院が実施する日曜休日及び夜間の二次救急医療を確保する。朝霞地区4市及び埼玉県が慶応大学と協定を締結し、同大学に寄附講座を設置することにより、小児科医及び産科医を確保する。朝霞市民の骨髄等提供者へ助成費の交付を行う。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 ・在宅当番医制運営事業 朝霞地区医師会に業務を委託 ・小児救急医療支援事業及び病院群輪番制病院運営事業 担当する病院に業務を委託 ・小児救急医療寄附講座支援事業及び周産期医療寄附講座支援事業 慶応大学に寄附講座を設置 【補助金】朝霞地区医師会補助金、朝霞地区歯科医師会補助金、朝霞地区看護専門学校運営費補助金、骨髄移植ドナー助成費補助金				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・在宅当番医制運営事業/朝霞地区医師会に診療業務を委託 ・小児救急医療支援事業/小児二次救急医療業務を委託 ・病院群輪番制病院運営事業/二次救急医療業務を委託 ・小児救急医療寄附講座支援事業/慶応大学に寄附講座を設置 ・周産期医療寄附講座支援事業/朝霞地区4市及び埼玉県との協定に基づき、慶応大学に寄附講座を設置 ・朝霞地区医師会及び朝霞地区歯科医師会に補助金を交付 【補助金】朝霞地区医師会、朝霞地区歯科医師会、朝霞地区看護専門学校(朝霞地区医師会) に補助。骨髄移植ドナー助成費交付事業/骨髄・末梢血幹細胞提供者のうち、条件に該当する者に対し助成				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		19,633	20,924	23,811	
	財源内訳	[イ]国庫支出金				
		[ロ]県支出金	70			
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	2,308	2,304	2,289	
	[ホ]一般財源	17,255	18,620	21,522		
	b 人件費		1,832	2,565	1,832	
	総コスト(a 事業費 + b 人件費)		21,465	23,489	25,643	
投入労働量	常勤職員等(人工)		0.25 人	0.35 人	0.25 人	
	一般職非常勤職員等(時間)		0 時間	0 時間	0 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳	委託料 朝霞地区4市分:3,283千円(朝霞市負担分:993千円) 負担金、補助及び交付金 20,528千円 計 23,811千円					
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 小児救急実施率	%	100 (100)	100 (—)	100 (—)	H 32 年度
	② 朝霞地区看護専門学校学生数	人	80 (80)	80 (—)	80 (—)	H 32 年度
成 果	① 小児救急利用者数	人	1,000 (4,000)	1,000 (—)	1,000 (—)	H 32 年度
	② 朝霞地区看護専門学校卒業生地区定着率	%	55 (55)	55 (—)	55 (—)	H 32 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明> 在宅当番医・小児救急・病院群輪番制の3事業とも市民の安心・安全の観点からも非常に要望の大きい事業である。運営費用についても担当する医療機関の負担が大きいため、本制度を維持するには本市のみならず地区内各市が関与する必要性は高い。また、寄附講座支援事業についても、県との共同事業であり、市の関与は必要である。各団体への補助金についても、医療の普及と公衆衛生の向上を目的に活動を行っており、その活動費用に対し補助することは、市民の健康増進に大きく寄与するものと考えられ、その点からも本事業について、市が関与する必要性がある。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 小児救急については、(独)国立病院機構埼玉病院の輪番強化と富士見市のイムス富士見総合病院の輪番参加により、実施率が100%を超える状態が継続されている。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 医療機関が休診となる休日夜間においても、市民が医療機関で受診することができるよう、医療体制の整備を図った。 参加と協働: 広報・ホームページ等により、救急医療等の情報を市民へ積極的に提供した。 経営的な視点: 朝霞地区医師会等と連携し、地域医療体制の確立に必要な経費の適切な支出を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 小児救急については、実施率が100%を超える状態が継続されている。各団体への補助金については、交付に当たって、今後、当市への貢献度について考慮する段階にきていると思われる。また、朝霞地区看護専門学校についても、地域医療への貢献という観点から、卒業生の地区内定着率について、考慮する必要がある。今後とも動向を注視したい。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期: <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input checked="" type="radio"/> A 拡大	<input type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	<input checked="" type="radio"/> A 見直して継続 <input type="radio"/> B 現状のまま継続			
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期: H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期: H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期: H 年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期: H 年度)	
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大		(実施時期: H 年度)		
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大	(実施時期: H 年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(実施時期: H 29 年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	朝霞地区4市及び埼玉県との間で朝霞地区の救急医療体制についての協議が活発化しており、小児救急の実施率や寄附講座の設置、医療の適正利用に向けた啓発活動の実施など、徐々に成果が出始めている。今後も引き続き制度の維持・向上を図るため、検討を重ねる必要がある。 また、平成27年度より、朝霞地区の周産期医療体制確保の一環として、朝霞地区4市及び埼玉県と共に、産婦人科医確保を前提とした寄附講座の設置事業を実施しており、制度の維持・向上を図ってきたい。 そのほか、平成29年度からは、在宅当番医運営業務委託料を増額するほか、新たに、早期不妊検査・治療費の助成を行う予定である。			